

幸手の伝統行事

この日、集会所に集まったのは、藁細工職人の坂倉さん・宿の後上さん夫妻・神主の梅林寺さんの4人。

まず、紙垂などを飾り付けます。

つぎに、大蛇と草鞋を竹に括り付け、お札をつけます。

準備が整ったら、祝詞を上げてもらいます。

そして、大蛇がよく働いてくれるようにお神酒を飲ませ、大蛇を地区境に立てます。



■神扇地区の特徴

道路を挟み南北に住宅が立ち並んでいます。この道路と東西を境に4つに区切り、順番にお祭りの世話をします。この世話係りを当番と呼び、当番の1戸が宿を引き受けます。

宿は当番の中でも特にお祭りの中心となつて働く役割を持ちます。

幸手の伝統行事 大蛇づくり (地域の無病息災祈願)

5月17日(日)神扇地区で、毎年行っている春祈禱が行われました(毎年5月11日に近い日曜日に実施)。

本来であればその年の当番(担当地区)が集まり、大蛇と草鞋を作りますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、あらかじめ作られた大蛇と草鞋を神扇集会所に持参し、3つの密を避けるために最小限の人数で行うという情報を入手しましたので、取材させていただきました。



■大蛇を地区境に設置して…

「コロナ禍の今だから、大蛇に願いを込めて設置しなければと思ってね。毎年のように地域のみんなで賑やかにできなくて残念だけど、諸難退散、病災消滅を願って大蛇を作りました。」と坂倉さんは話してくれました。



地区境に設置された大蛇
見事です！

■神扇地区の豆知識

鳥居の先に見える八代小学校は、菅原道真公に見守られていると言われています。



坂倉さんによる
藁の編み方のレッスン



八代小学校のみんな！
知ってたかな？

※神扇天神八幡神社(ご祭神/菅原道真公・応神天皇様)を背に鳥居を見て撮影。



お神酒を飲ます後上さん



祝詞を上げる梅林寺さん



おれをつける後上さん



紙垂の飾り付けをする坂倉さん

こんにちは！ 地域包括支援センターです ～認知症サポートガイドを活用しましょう～



「認知症サポートガイド」は、認知症をご理解いただき、認知症の予防や早期発見、相談のために役立つ情報をまとめたものです。

認知症は誰にでも起こり得る疾患です。どのタイミングで、どこへ相談を行うと良いのか、どのようなサービスや支援を利用することができるのかを、冊子「認知症サポートガイド」に分かりやすくまとめました。

「幸手市認知症サポートガイド」は、市ホームページで公開のほか、介護福祉課窓口(ウエルス幸手)などで配布しています。ぜひ活用ください。

また、公益社団法人「認知症の人と家族の会」からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症の人を介護している人へつぎのようなアドバイスが出ています。ぜひ参考にしてください。

【やってみよう】

- ・電話やビデオ通話を使って親しい人と定期的に連絡を取り合みましょう。
- ・手洗いを忘れないように家のあちろちらに張り紙などをしておきましょう。
- ・定期的に運動をすることを心がけましょう。ただし、

体の調子を見ながら、やり過ぎないようにしましょう。

「毎日の日課」をできるかぎり続けましょう。

・ニュースを見たり読んだりすることは、1日1、2回にしましょう。

【避けましよう】

- ・脅かすような方法で手洗いを強要したり、無理やり人との距離を取らせるようなこと。
- ・不要なニュースやメディアからの情報。
- ・睡眠の問題を引き起こす可能性がある予定外の昼寝や長時間の睡眠。
- ・認知症の人が、いつもと違う状況のせいで混乱したり動揺したときに、自分自身も一緒に、動揺してしまうこと。

高齢者のための総合相談支援窓口として、高齢者のみなさんやご家族からの相談を受け、支援を行うための専門職を配置しております。また、認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護の専門職が、ご家族の訴えなどにより認知症が疑われる人や、認知症の人およびそのご家族を訪問し、病院への受診や介護サービスの利用、ご家族の支援など必要な初期の支援を集中的に行い、自立生活に向けたサポートをチームで行っております。お気軽にお声かけください。

緊急の場合の相談は、業務時間以外にもお電話にて承ります。

相談窓口(土曜・日曜・祝日を除く)

▼幸手東地域包括支援センター(ウエルス幸手内)

☎(53)61511・FAX(53)61600

(権現堂川・吉田・八代・さかえ・さくら小学校区の人)
業務時間 午前8時30分～午後5時15分

▼幸手西地域包括支援センター(旧香日向小学校内)

☎(40)3443・FAX(44)0870

(幸手・行幸・長倉・上高野小学校区の人)
業務時間 午前9時～午後5時45分